

日清オイリオ生活科学研究レポート No.48 ’22 外食に関する調査

ココロも満たされる外食

- ◆ 70代は記念日やイベントに皆で、若年層は自分へのご褒美にも
- ◆ 外食店で注文する揚げ物メニューの印象は「おいしい」が最多

日清オイリオグループ株式会社（社長：久野 貴久）は、「ビジョン 2030」の実現に向けて“もっとお客さまの近くへ”を基本方針に取り組んでいます。「生活科学研究課」では、社会環境や生活者の価値観の変化、それらに起因する生活習慣の動向などについて調査し、情報発信をしています。

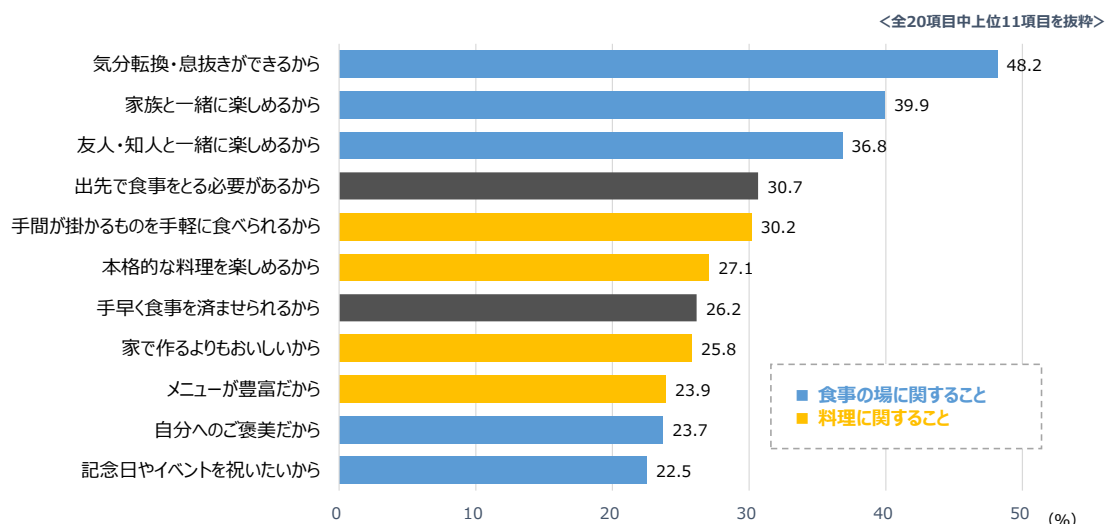
コロナ禍の影響を大きく受けた外食産業。一般社団法人日本フードサービス協会によると、2019年に26兆円まで拡大した市場規模が縮小し、2021年の全体売上高は2019年比83.2%となりました。そのようななか、テイクアウト・デリバリーやおひとり様対応など新たな取り組みが広がり、生活者にとって外食店の料理を楽しむ手段が増えています。

当研究課では、中食・外食に関する調査を継続的に実施しています。本レポートでは、「外食に関する調査」として、外食利用に対する意識、外食利用時の揚げ物に対する意識について、分析結果をまとめました。

- ・生活科学サイト：<https://www.nisshin-oillio.com/report/>
- ・日清オイリオ生活科学研究レポート No. 48 (PDF)：
<https://www.nisshin-oillio.com/report/report/images/no48/no48.pdf>

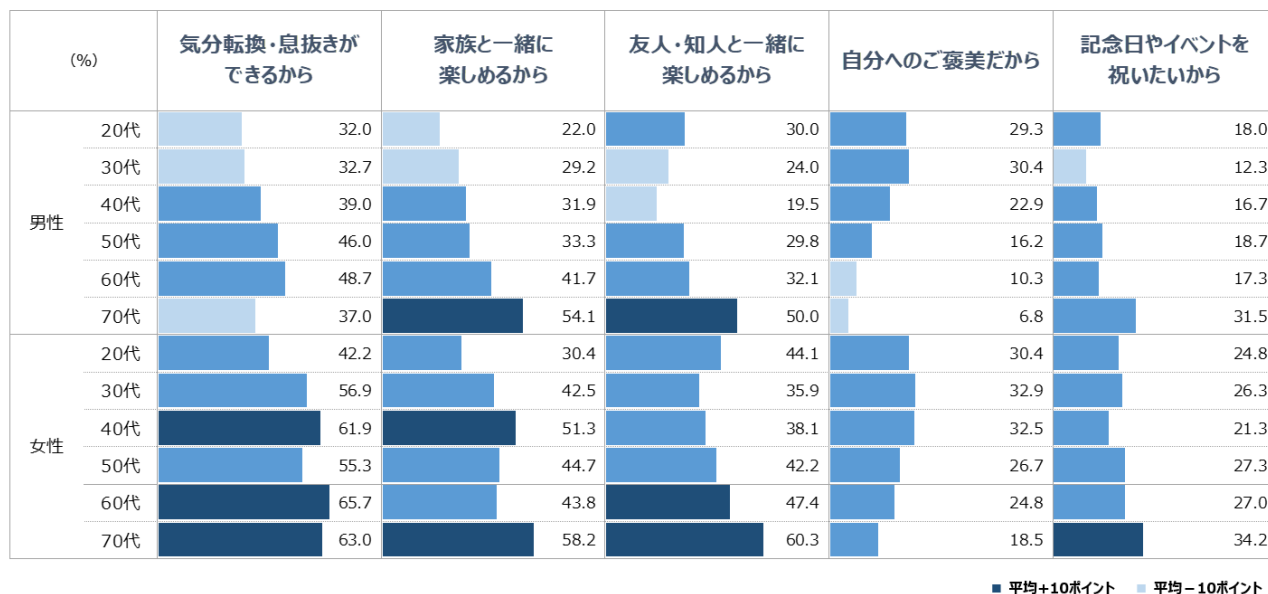
■ 外食の理由は、リフレッシュや人と一緒に楽しむため

外食する理由は、「気分転換・息抜きができるから」が48.2%と最も多く、次いで「家族と一緒に楽しめるから」「友人・知人と一緒に楽しめるから」が挙がりました。料理に関する「手間が掛かるものを手軽に食べられるから」「本格的な料理を楽しめるから」なども上位に挙がりました。（レポート5頁参照）



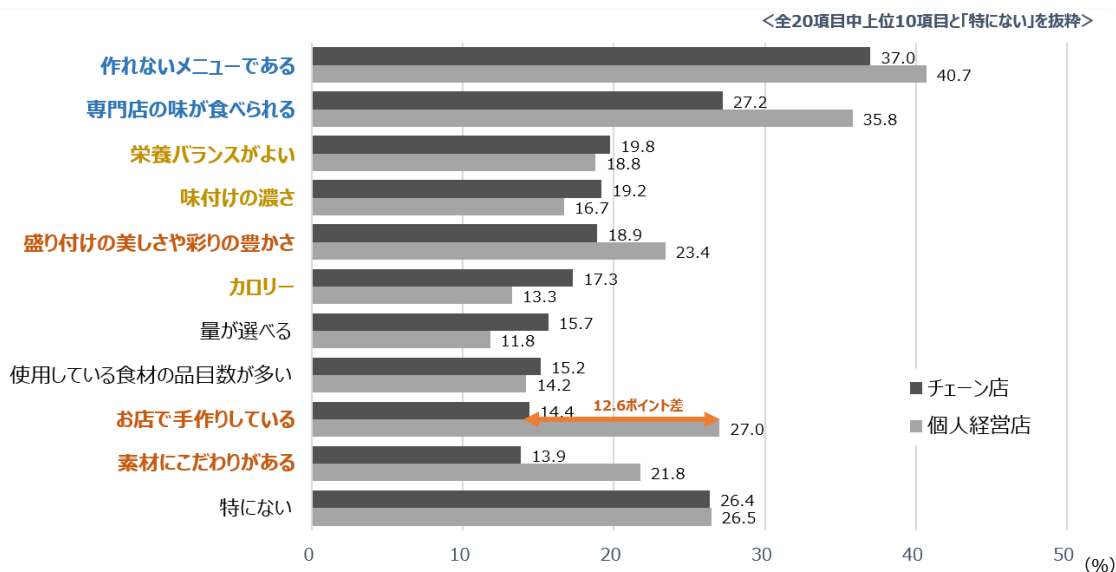
■ 70代は記念日やイベントを皆で祝いたい、若年層は自分へのご褒美にも

外食する理由を性年代別にみると、70代は男女ともに「家族と一緒に楽しめるから」「友人・知人と一緒に楽しめるから」が多く、「記念日やイベントを祝いたいから」も3割を上回りました。「気分転換・息抜きができるから」は、女性の割合が比較的高く、40代、60～70代では6割に達しました。「自分へのご褒美だから」は、若年層ほど多い傾向が見られました。(レポート6頁参照)



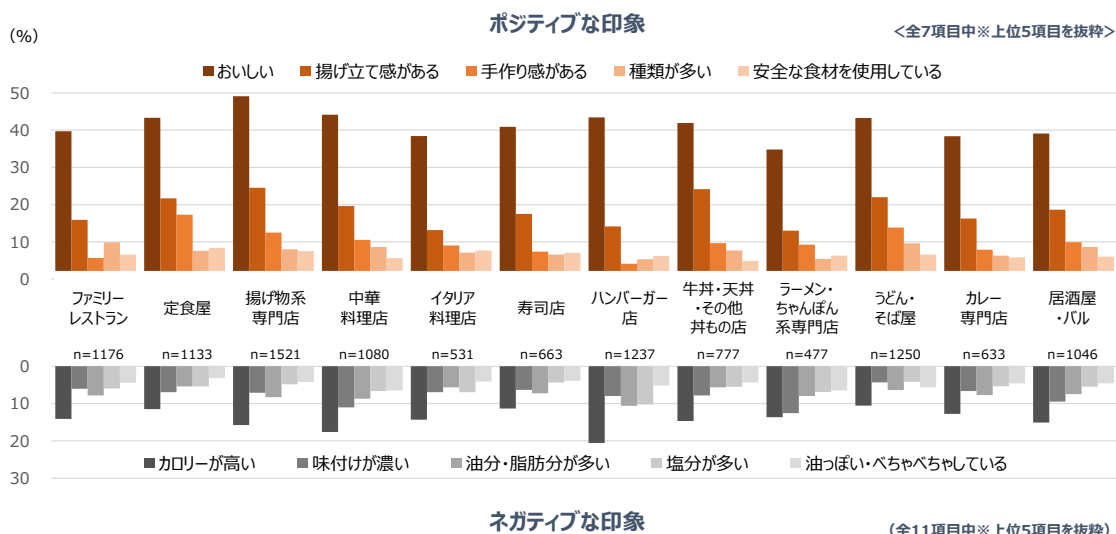
■ 外食店の料理で気にすることは、家庭で作れないメニューや味

料理について気にしていることは、チェーン店・個人経営店いずれも「作れないメニューである」が最も多く、次いで「専門店の味が食べられる」が挙がりました。個人経営店では「お店で手作りしている」が27.0%と、チェーン店との差が12.6ポイントで最大となったほか、「素材にこだわりがある」「盛り付けの美しさや彩りの豊かさ」も比較的多く、2割を上回りました。チェーン店では「栄養バランスがよい」「味付けの濃さ」「カロリー」が比較的多く、2割近く挙がりました。(レポート7頁参照)



■ 揚げ物メニューの印象は「おいしい」が最多、「揚げ立て感」「カロリーが高い」が上位に

揚げ物メニューに対するポジティブな印象は、すべてのジャンルの外食店で「おいしい」が最も多く、「揚げ立て感がある」「手作り感がある」などが上位に挙げられました。ネガティブな印象は、すべてのジャンルの外食店で「カロリーが高い」が多く挙げられました。(レポート9頁参照)



■ その他調査結果のポイント

- 外食の頻度は「減った」が4割、コロナ禍の影響大きく
- 揚げ物メニューの注文は、様々な料理ジャンルの外食店で
- 揚げ物メニューに書かれていたら魅力を感じることは「衣がサクサク」のほか、「コレステロール」「カロリー」などの栄養成分関連
- フライ油の種類や質は、外食店の料理ジャンルによらず「気になる」が約半数
- フライ油に使われていたら嬉しい油は「オリーブオイル」が最多、健康イメージのある油が上位に

調査概要

実査期間	調査1: 2022年6月9日～14日 調査2: 2022年6月16日～21日
調査手法	定量調査 (インターネット調査にて実施)
調査地域	首都圏(1都3県)、近畿圏(2府4県)
調査対象	20～70代の男女
サンプル数・割付	調査1: n=10000 (性別・年代・地域の人口構成比に応じた割付にて回収、ウエイトバック処理を実施) 調査2: n=2000、外食※を月1回以上利用する人 ※ 飲食店で食事をする(イートイン)。テイクアウト・デリバリーを除く。 (調査1で外食を月1回以上利用すると回答した人の構成比率に基づいて回収)

◆ 調査結果詳細(レポート)はホームページをご覧ください。

<https://www.nisshin-oillio.com/report>

【レポートに関するお問合せ先】 日清オイリオグループ株式会社 技術本部 中央研究所 生活科学研究課
TEL:045-757-5461 〒235-8558 神奈川県横浜市磯子区新森町1番地

【リリースに関するお問合せ先】 日清オイリオグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報課
TEL:03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号